

堀岡 敏喜 議員 公明党



問 子どもの貧困、連鎖断ち切れ

答 抱え込まずに相談を

高齡化が進む中で、現役世代が経済的に弱体化している。国は一億総活躍社会や地方創生などを掲げているが、子どもの貧困対策、生活困窮者自立支援制度はその根本に置くべきと考えらる。以下問う。

問 任意事業の今後の取り組みは。

答 (民生部長) 現在任意事業は実施していないが、県内で実施している市などを研究していく。

問 周知のあり方は。

答 (民生部長) 関係窓口、社会福祉協議会HP、福祉だより、回覧文書などで周知を行っている。

問 より積極的に支援を届ける「伴走型」の支援が必要と考えるが市の認識は。

答 (民生部長) 生活困窮

者本人の意欲や自己決定を大切にし、経済自立だけでなく社会生活自立できるまでの支援を行っている。1人で抱え込まず相談を。

問 相談者の現状はそれぞれ異なる。縦割りを排し包括的な支援が必要である。市の対応は。

答 (民生部長) 相談者に負担のかけられないワンストップ型の相談体制の充実を図る。



問 自立心を育む学習支援を

答 今後研究していく

安易に自先の学力を支援するのではなく、子どもが成長し、役割を担っていくまでのプロセスを広角的に見た上、効果の高い学習支援プログラムの構築が求められている。以下問う。

問 子どもが貧困状態にある世帯の実態をどのように把握、認識しているか。

答 (民生部長) 実態把握ついで。

問 ひとり親家庭の就業支援

生活自立支援センターからのお知らせ

生活自立支援センターでは、生活困窮者へ相談支援を行い、自立を促進します。

相談・利用料っていくら？
相談から支援まですべて無料です。また、秘密厳守ですのでご安心ください。

誰でも相談できるの？
弥富市内に居住し、生活保護を受給されておらず、現に経済的に困窮している方、またはそのおそれのある方が対象となります。

相談内容は？
・生活に困っている
・家賃を払えない
・仕事が見つからない
・病気で働けない
・将来が不安
・家族のことで悩んでいるなど
まずはご相談ください。

どうやって相談すればいいの？
センターまでご来館していただき、個室で相談します。センターまで来館できない方は、ご家庭等お会いできる場所までお問い合わせください。

▲【生活自立支援センター】
弥富市総合福祉センター内
☎ 0567-65-8105

援など、所得や資産の格差解消に向けた取り組みは。

答 (民生部長) 県の「ひとり親家庭に関する福祉制度」を活用し対応。

問 医療費は親子共に無料。

答 (市長) 貧困は子ども自ら解決できない。生まれ育った環境に左右されないようにしなければならぬ。そのため保護者の就業支援を併せて取り組む必要がある。

問 自立心を育む学習支援について今後の取り組みは。

答 (民生部長) 困窮世帯の児童が対象となるため、学校に来づらくならないか配慮が必要。また学力だけ

でなく、専門的な知識を有する人材確保が不可欠となる。これらを研究していく。

問 総合的に市長の見解を問う。